

○「農業振興担当実務者と農業委員との合同会議」

(農業技術者協議会:大宮地域部会 平成31年度1月開催)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年1月7日 午前9時30分～10時30分
- 場 所: 京丹後市役所大宮庁舎
- 出席者: 農業委員1人、最適化推進委員1人
委員外6人(府、市、JA実務担当者)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 市の幹線国道を挟んで東西に水田が広がる
- 大宮町時代から小学校区や集落を単位にむらづくりが盛んに行われ、地区での話し合い活動の素地はある

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 加工米の「京の輝き」の減収による主食用米による出荷対応事態が発生したことから31年産の京の輝きの生産拡大についての報告
- JA京都課長より、管内国営畑での野菜の計画反収が減少傾向にあるとの課題提起があり意見交換
- 岡田委員より、地元河辺地区での農事関係の協議を進める取組について紹介。地区内に農業法人の設立の動きについて紹介
- 糸井推進委員の地元三重地区で、毎年新年放談会が開催され、将来の農業課題が話題となるが具体的な動きに繋がらない現状の紹介
- ドラマ「下町ロケット」の視聴した感想などから将来の農業について意見交換
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援